

# 東京都立 多摩総合医療センター

## ごあいさつ

院長 近藤 泰児

平成25年4月1日付けで南 智仁先生の後任として院長を拝命いたしました。平成21年7月に旧都立府中病院の副院長として着任して以来、地域医師会の先生方、関連医療機関の皆様方には医療連携を通じて大変お世話になり、誠にありがとうございました。引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。

当院は救急医療と高度専門医療に重点を置いてきましたが、救急診療については、ベッド満床、手術・患者多数対応中などが相俟って患者さんをお断わりすることがあり、長年の課題となっています。また、専門外来へのご紹介についても、予約センターでの予約がすぐに取りれない、電話でのご紹介への対応に時間がかかるなどの問題があります。院を挙げてこれらの課題に全力で取り組んでいく所存です。



転送、早期の転院事例では救急搬送患者地域連携の提携先の病院様に大変お世話になっています。また、治療が一段落したあとの患者さんについては、地域連携パス（大腿骨頸部骨折、脳卒中）提携病院様をはじめ、さまざまな医療機関にお世話になっています。この紙面を借りて改めて御礼申し上げます。

平成24年4月より医療連携、患者相談、がん患者相談、退院支援、在宅医療支援、病床管理など院内各部門を有機的にまとめた組織（総合患者支援センター）を立ち上げ、患者への包括的な質の高いサービスを提供するとともに、効率のよい病床運営に努めています。ご理解とご協力を賜れば幸いに存じます。

また、平成24年度に北多摩南部二次医療圏の地域災害拠点中核病院に指定され、市町村の行政組織、保健所、地区医師会・歯科医師会・薬剤師会等と連携し、地域の災害医療体制を構築していくことになりました。地域災害医療連携会議を通じて先生方に御指導、御鞭撻いただく機会も多いかと存じますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、先生方のますますのご発展とご健勝をご祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。



今、ニッポンにはこの夢の力が必要だ。

2020年 オリンピック・パラリンピックを日本で!





副院長 押 正也

平成25年4月1日付けで、近藤副院長の後任として公益財団法人東京都保健医療公社荏原病院から着任致しました。2年前まで17年間都立府中病院ならびに都立多摩総合医療センターの泌尿器科医として勤務しておりました。その間地域の先生方には大変お世話になりました。

今回総合患者支援センター（地域医療連携、がん患者相談支援、退院調整等々）を担当致しますので、各方面で先生方のお世話になると思います。一層のご支援・ご鞭撻の程お願い申し上げます。

今、医療は変革の時期であり、特に病院・病床機能の分化と連携が求められています。当院は救急医療や高度・専門的な急性期対応の医療を提供することが債務であると考えます。そのためには「入口機能」「出口機能」を一層強化していく必要があり、地域の医療機関や介護の方々との連携体制の強化を図っていきたく存じます。

また地域災害拠点病院として十分機能するためには、各病院・医師会・歯科医師会・薬剤師会・行政機関等が連携した災害医療体制の構築が必要と考えます。この点につきましてもよろしくご協力の程お願い申し上げます。

最後に、連携医皆様様の益々のご発展とご健勝をお祈り致します。

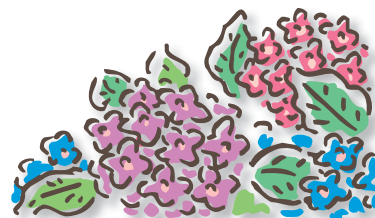
### 都立多摩総合医療センター 人事異動

#### 【昇任】平成25年4月1日付

院長	近藤 泰児
リハビリテーション科部長	佐藤 和強
検査科部長	石澤 貢
検査科部長	霧生 孝弘
内科医長	唐鎌 優子
整形外科医長	松本 卓也
麻酔科医長	白田 岩男
麻酔科医長	田辺 瀬良美

#### 【転入】平成25年4月1日付

副院長	押 正也
産婦人科部長	谷口 義実
歯科口腔外科医員	市川 秀樹



【採用】平成25年4月1日付

眼科医長	大野 明子
脳神経外科医長	堀川 弘吏
精神神経科医員	櫻井 薫
産婦人科医員	後藤 亮子
血液内科医員	岩間 幹一
血液内科医員	田寺 範行
血液内科(非常勤)→医員	篠田 大輔
リウマチ膠原病科医員	山口 玲
皮膚科医員	神田 泰洋
循環器内科医員	菊池 規子
循環器内科医員	岩波 裕史
循環器内科(非常勤)→医員	宮坂 知沙
外科医員	三好 哲太郎
呼吸器内科(非常勤)→医員	佐々木 茜
産婦人科(非常勤)→医員	永岡 晋一
耳鼻咽喉科(非常勤)→医員	測上 輝彦
脳神経外科医員	吉田 信介
脳神経外科医員	新村 学
内科(非常勤)	井上 恵美
内科(非常勤)	戸田 晶子
内科(非常勤)	黒澤 由貴子
呼吸器内科(非常勤)	船井 朋子
精神神経科(非常勤)	井上 和洋
精神神経科(非常勤)	森田 健太郎
精神神経科(非常勤)	矢野 幹一良
整形外科(非常勤)	後藤 和海
眼科(非常勤)	井出 光広
歯科口腔外科(非常勤)	杉山 健太郎

【転出】平成25年3月31日付

外科部長	松本 潤
耳鼻咽喉科部長	阿部 和也
血液内科医長	播磨 あかね
血液内科医員	島崎 健五
歯科口腔外科医員	神山 勲
呼吸器内科医員	三倉 真一郎

【退職】平成25年3月31日付

院長	南 智仁
血液内科医長	木暮 勝広
精神神経科医員	北條 彩
脳神経外科医員	安田 崇之
脳神経外科医員	藪崎 肇
脳神経外科医員	葛岡 桜
救急科医員	金子 仁
歯科口腔外科医員	杉山 健太郎
リウマチ膠原病科医員	須藤 梓
皮膚科医員	白井 浩平
循環器内科医員	磯貝 俊明
循環器内科医員	齋藤 千紘
循環器内科医員	笹川 佳苗
外科医員	伏見 航也
形成外科医員	安嶋 康治
内科医員	横田 拓也
内科(非常勤)	笠木 祐里
内科(非常勤)	穴戸 華子
内科(非常勤)	中島 佑至
精神神経科(非常勤)	澤田 欣吾
眼科(非常勤)	田中 裕一郎

【転入】平成25年5月1日付

泌尿器科医長	松本 明彦
--------	-------

【退職】平成25年4月30日付

泌尿器科医長	東 剛司
救急科医員	遠山 莊一郎

非常勤は、外来担当医のみ掲載しております。





# 内分泌代謝内科のご紹介



内分泌代謝内科部長 辻野 元祥

内科は、府中病院時代より、消化器、腎臓、内分泌代謝の3つの分野が一体となって運営を行って参りましたが、昨年4月から、消化器内科、腎臓内科、内分泌代謝内科、そして新しく、総合内科が加わり、それまでの緊密な協力関係を保ちながら、それぞれの診療単位を担う形となりました。

ここでは、診療単位としての内分泌代謝内科について、ご紹介させていただきます。

## 1. 糖尿病診療

当院では、2011年度実績で外来糖尿病患者数2,687名、入院糖尿病患者数238名を担当いたしました。DPCの病院データによりますと糖尿病の患者数では、大学病院を含めても、東京都全体で12位、一般病院としては4位にランクされております。このような実績をお示しできるのも、先生方の糖尿病医療連携へのご理解とご協力の賜物と改めて感謝申し上げます。当院の糖尿病診療の特徴の第一は、保険診療の範囲内で最新の治療を常に積極的に取り入れていることです。1型糖尿病に対する持続皮下インスリン注入療法（CSII）や4台の持続血糖モニター（CGM）を用いた24時間の血糖評価を数多く行っております。第二は、高血糖でお困りの症例は、“Never Say No!”を合い言葉に必ず患者さんをお受けしていることです。ベッド状況が厳しい場合、ご高齢で認知症を合併している場合など、あらゆる状況に対処出来る準備を整えております。交換台には、“辻野か、西田、あるいは誰でも糖尿病・内分泌の医師につないで欲しい”、とご要望下さい。第三は、ご紹介いただいた糖尿病患者さんが落ち着かれたら、できる限り地域の先生に戻っていただくよう心がけていることです。当たり前のことをスタッフ一同買ってきた結果、当院の糖尿病医療連携システムは全国的にもトップレベルのロールモデルとして注目されるに至りました。第四は、多職種による糖尿病医療チームがお互い最新情報を共有し合い、それを患者さんに還元していることです。チーム医療のレベルアップは、患者さんに優しい医療の実践にもつながると自負しております。

## 2. 内分泌診療

当院では、クッシング病、アクロメガリーなどの下垂体疾患、甲状腺疾患、副甲状腺疾患、原発性アルドステロン症、クッシング症候群、褐色細胞腫などの副腎疾患についても、先生方からご紹介をいただき、多くの診療実績を有しております。低血糖をきたす代表疾患であるインスリノーマについては、すでに8例を経験し、診断・治療のノウハウを蓄積しております。内分泌疾患についても疑われる患者さんがおられましたら、是非ご紹介くださるようお願いいたします。

当院内分泌代謝内科の使命は、糖尿病についても、内分泌疾患についても、現時点で考え得る最良の治療を、患者さんやご家族のご希望に添った形で提供することです。加えて、糖尿病学あるいは内分泌学の進歩のために、臨床上の新しい知見を見出し、発信していくことも重要な役割であり、スタッフ一同、研鑽を積んで参る所存です。どうか今後ともご指導ご鞭撻の程、よろしくようお願い申し上げます。



内分泌代謝内科スタッフ



カンファレンスの様子



## 米国製痩身用健康食品による好酸球性肺炎の一例

呼吸器内科医長 高森 幹雄



【症例】35歳、女性

【主訴】咳嗽、発熱

【現病歴】約2ヶ月前より米国製痩身用健康食品「スーパーファットバーニング®」を内服。服用開始1週間後より咳嗽・鼻汁・発熱・喘鳴を伴わない乾性咳嗽が出現。近医にて抗菌薬等処方されるも改善せず、胸部異常陰影が悪化したことから当科紹介受診。

【身体所見】体温 38.2℃、血圧 116/80mmHg、脈拍 94/分、呼吸数 16/分、SpO<sub>2</sub> 95%（室内気）、鼻閉あり、呼吸音cracklesははっきりせず、皮疹無し

【初診時画像所見】

胸部単純写真①：右上肺野に浸潤影を認める。

胸部CT②：右上葉中心に、正常肺実質と境界明瞭な非区域性浸潤影。

【検査所見】

WBC 19500（Neut 52%、Lym 11%、Eo 32%）、CRP 3.37、KL6 86、SP-D 62.3、IgE 555、〔気管支鏡〕BAL肺胞洗浄液（rt.B3b）回収率33.3%、分画Mφ52%・Eo 45%、CD4/8 1.21、〔DLST〕スーパーファットバーニング®陽性（S.I.315%）

【臨床経過】痩身用健康食品内服中止およびプレドニゾロン内服にて速やかに臨床症状、好酸球増多、画像所見は改善し、1週間の投与で終了した。DLST検査陽性にて痩身用健康食品により惹起された好酸球性肺炎と診断し痩身用健康食品中止としていたが、プレドニゾロン中止後約1ヶ月後から内服再開し二週間経過して再度発熱認め来院。WBC 11800（Eo 19%）、左肺浸潤影（③）出現しており再曝露による再燃と判断しプレドニゾロン1週間内服で改善した。

【解説】今回米国製痩身用健康食品による好酸球性肺炎の一例を経験した。特に再曝露での再燃を認めており確定例と考えられる。健康食品サプリメントにより呼吸障害をきたした例としては過去にアガリクスやコエンザイムQ10による薬剤性肺炎、アマメシバによる閉塞性細気管支炎などが報告されている。本症例に該当する痩身用健康食品にて好酸球性肺炎に至った報告はないが、医薬品成分シブトラミンが含まれていることが近年報告されている。シブトラミンはモノアミンの再取込阻害作用があり、米国では肥満抑制薬として認可されているものの、欧州では承認取消、日本も開発中止になっている。今回は健康食品のカプセルごとDLST測定しており、原因物質までは特定できていないが、本製品が好酸球性肺炎を呈する可能性があることが示唆された。各種健康食品が好酸球性肺炎等の免疫反応の要因となりうることは認識されていないと考えられ今後注意を要する。



▲①胸部単純写真



▲②胸部CT



▲③再燃時



## ●● 医療連携臨床懇話会のご案内(医療従事者向け) ●●

会場：都立多摩総合医療センター 4階401会議室

● 平成25年7月25日(木) 19:00~21:00

- 心筋梗塞の治療と退院後の管理 循環器内科医長 田中 博之
- 腹腔鏡治療について(仮称) 外科医師

※詳細が決まり次第、別途ご案内いたします。

## ●● 糖尿病講習会のご案内(患者さん向け) ●●

会場：都立多摩総合医療センター 講堂フォレスト

時間：午後2時から午後4時

※参加無料、事前予約不要です。

● 平成25年6月19日(水)

- 糖尿病網膜症(眼科 鶴岡部長)
- 点眼薬を正しく使いましょう(薬剤師)
- 外食・宅配等の利用方法(管理栄養士)

● 平成25年7月17日(水)

- 糖尿病腎症(内科 永田医師)
- 透析療法の実際(臨床工学士)
- 腎症予防にむけての食事(管理栄養士)

● 平成25年8月14日(水)

- 糖尿病のセルフコントロール(伊藤眞一医師)
- 糖尿病内服薬の飲み方(薬剤師)
- 糖尿病手帳の使い方(外来看護師)

(内容は変更になる場合があります。)

当院は原則として、**紹介予約制**です。  
外来及びCT、MRI検査は必ず予約を取り、  
紹介状をお願い致します。

ご意見、ご投稿、お問い合わせは  
医療連携係(遠藤・猪股)内線2171まで

### <電話予約センター>

月~土 受付時間 午前9:00~午後5:00

TEL: 042-323-9200

### <FAXによる診療予約>

月~土 受付時間 午前9:00~午後5:00

TEL: 042-323-9205

**緊急の場合…必ずご一報ください。**

可能な限り専門診療科をご指定の上、  
担当医にご連絡ください。

東京都立多摩総合医療センター

〒183-8524 東京都府中市武蔵台2-8-29  
TEL 042-323-5111(代表)

